



📷 自転車の交通安全を守ろう！



自転車を活用した郷土学習授業の一環として、1月30日、かせだドームで田布施小学校4年生を対象に自転車乗り方教室が行われました。参加した児童24人は、ブリヂストン株式会社の講師から交通安全や自転車の安全な乗り方について教わり、自転車を使った練習では、教わったことを早速実践しました。桑水流明子さんは「自転車の運転に自信がなかったが、練習後はまっすぐ進むようになり、楽しかった」と話しました。

📷 南さつま市の魅力を発見！



1月28日、本市の外国人技能実習生を対象とした“くじらバスツアー”があり、笠沙美術館などの観光地を巡ったほか、餅つきを教わるなど地域住民との交流を行いました。SNSを通じて故郷の家族や知人へ誘客を促す目的と、第2の故郷として地域に愛着を深めてほしいという願いから市が企画したもので、参加したベトナム出身のグエン・ティ・キム・ガンさんは、「南さつま市は景色が綺麗でとても楽しかった」と話しました。

📷 伝統行事を後世に お伊勢講



2月11日、笠沙・大浦地域でお伊勢講が行われました。お伊勢講は江戸時代、全国的に流行した伊勢神宮への参詣のための積み立てと、伊勢神宮の勧請のために集まり（講）を開くようになったことが始まりと言われています。新型コロナウイルスの影響で神事のみで開催がほとんどでしたが、片浦集落の神幸行列をはじめ棒踊り（赤生木地区ほか）など、特色のある行事が開催されました。

📷 日新公の教えを学びながら熱戦



2月5日、市民会館大ホールにおいて3年ぶりとなる日新公いろは歌かるた取り大会が開催され、市内外12小学校から参加した4～6年生の児童約100人が、日新公の遺徳を偲びながら熱戦を繰り広げました。大会は「上の句の部」と「下の句の部」があり、子どもたちは、応援する保護者や先生が見守る中、句が読み上げられると真剣な表情で素早く反応して札を取り合っていました。